



大丈夫。何度でも立ち上げられる。



いちはら災害ボランティア活動団体
あしたのまちづくり活動事務局

特定非営利活動法人
BUMP-UP



それはTwitter上の「助けてください」からはじまった



私たちが住む千葉県市原市という地域は、これまで長い間「自然災害が少ない安全な市」とされてきましたが、令和元年9月に房総半島を襲った台風15号にはじまり、立て続けに起きた災害によって、屋根瓦が吹き飛び、木々や電柱がなぎ倒され、地域によっては停電や断水状態がしばらく続くなどの甚大な被害を受けました。しかし、災害経験に乏しいため行政の対応もスムーズとは言えず、災害救助ボランティアの登録すら災害発生から数日経過してようやく動き始めたという有様でした。

今後、こうした活動はなるべく迅速に対応していく必要があることはもちろん、実際に被害を受ける前に**常日頃から防災意識を持つこと**が何より重要と考えます。そのためには行政に任せきりではなく、私たち市民も行政と一緒に地域での防災活動、災害ボランティア活動、救命活動などを行っていくことが求められるのではないか、その様な考えのもと、実際にボランティア活動に携わったメンバーを中心に「**行政がサポートしきれない部分を補う団体を作ろう**」という動きが生まれ、2020年10月「BUMP-UP (バンプアップ)」という名のNPO団体を設立しました。これは「盛りあがる」「隆起」といった意味ですが、仲間同士の挨拶「グータッチ」の意味も込められており、「**地域を盛り上げる先導役**」として活動してまいります。

今後は任意団体として実践してきた活動や事業をさらに地域に定着させ、継続的に推進していくことは勿論のこと、地域全体へ活動を拡げていくために行政や関連団体との連携を深め、多くの市民の方々に参画していただくことで**社会的にも必要とされる組織**にしていくことが目標です。

是非、私たちの活動にご賛同・ご支援を頂けたら幸いに存じます。



代表理事 潤間 洋平

当団体の活動



救命・防災活動の講演活動

この活動の目的は、市内の小学校や施設を訪問し、目の前で倒れた人の命を救うべく「AEDの使い方」をレクチャーして行くことです。詳しい活動内容については直接お問い合わせください。



災害時におけるボランティア活動

当団体を結成するきっかけとなった「災害ボランティア活動」。有事の際には自治体・関連団体と連携し、困っている人々のために「私たちに何かできるのか」を見定めたくえで活動してまいります。「社会に貢献したい」という気持ちが当団体の原動力です。ご一緒に活動してくれる「同じ志」のメンバーを随時募集しています。



食料難の子供を救う活動

2021年現在、信じられないかも知れませんが、食糧難に苦しんでいる子供たちが多く存在します。同じ市原市内で子供食堂を営んでいる団体、児童福祉施設へ当団体ルートで「B級食材（廃棄となるが十分に使えるもの）」を確保し、提供する活動に取り組んでいます。詳しい活動内容については直接お問い合わせください。



地域にとって何ができるか

例えば竹林整備や美化活動、さらには災害時の避難所におけるプライバシー確保のテストなど様々なことに取り組んでいます。



地域活性化のためのイベント開催

私たちは「BUMP-UP」という名の通り、地域を盛り上げるための活動の一環として、音楽・スポーツイベントの企画・運営をしています。本イベントを通じ、災害ボランティア活動に興味を持ってもらうことはもちろんのこと、青少年のいじめ撲滅、救急救命活動の普及を図ってまいります。



参加できる時に無理なく

常時、会員を募集しております。私たちはメンバー全員が兼業で活動を行っています。参加できるタイミングで無理なくご参加ください。

活動のためのご支援・ご協力宜しく申し上げます



ご支援のお願い

私たちは歴史が浅く、立ち上がったばかりの団体です。もし、私たちの活動にご賛同頂けるようでしたら、各種活動実施のためのご支援・ご協力を頂けたら幸いに存じます

お振込先はこちら ※一口¥1,000-
 トクティエイリカツドウハウジン パンプアップ
 千葉銀行 八幡支店 普通 3965960
 千葉信用金庫 五井支店 普通 0028229

電子決済
 サイト
 こちらです



皆様からのご支援・ご協力、宜しくご申し上げます



一人ひとりの力は小さくとも、**集まれば大きな力**になる



特定非営利活動法人 BUMP-UP

HP <https://www.bumpup2020.com/>

E-mail bumpup2020@gmail.com

千葉県千葉市中央区村田町336-8

代表理事 潤間 洋平